



令和3年 鎌ヶ谷市議会定例会9月会議報告

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」 (令和3年度2回分)を活用した30事業の補正予算を含む議案を可決

9月会議は芝田裕美新市長のもと初めての会議となり、市長として優先的に取り組む施策等についての所信表明がなされました。また議案14件、同意案1件が可決され、補正予算において新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世帯や事業者を対象とした、次の事業が計上されています。

●子育て世帯への支援

➡子ども医療費助成の高校生等までの拡大

現在、助成の対象外となっている高校生等に対し、令和3年10月1日から令和4年2月末までに診療を受けた医療費に対し市が助成

➡多子世帯学校給食費を一部軽減

令和4年3月31日までの期間に18歳以下の子供を3人以上養育している世帯について、第3子以降の令和3年度分の年間給食費を半額

➡多子世帯の保育料軽減

保育所等を利用する0～2歳の保護者に対し、令和3年10月から令和4年3月までの間、所得にかかわらず18歳未満(基準日：令和3年4月1日)の子を対象として保育料を算定することとし、(現在は未就学児を対象として算定)、第2子は半額、第3子は無償

➡あふれるえがお出産給付金

令和3年4月2日から令和4年4月1日までに生まれた新生児の保護者に対し、新生児1人あたり5万円を給付

●事業者・市民生活への支援

➡プレミアム付き商品券事業

地域経済を活性化させるためプレミアム率20%(1万円で購入し、1万2千円分使用できる)の商品券1万冊の発行)

●感染症対策

➡PCR検査費用の助成

小・中学校や幼稚園・保育施設、放課後児童クラブ、障害者支援施設等の児童・生徒・利用者・従事者等に不安感の軽減と感染拡大を未然に防止するためPCR検査費用を助成

➡キャッシュレス決済の推進

市民課窓口等にセミセルフレジを導入することで、住民票手数料などを支払う際に、直接現金の受け渡しをすることなく、キャッシュレスを実現し、市民の利便性の向上と感染症対策を強化

新型コロナウイルスワクチン接種状況！

9月21日に12歳以上のすべての市民への接種券の発送が終了しています。(注：12歳以上の人は誕生月の翌月初旬に発送)。希望する市民の2回目の接種は10月下旬から11月上旬で概ね完了する予定となります。

●鎌ヶ谷市の接種状況(10月19日現在)

	対象者全体	うち65歳以上
1回目	83.1%	93.6%
2回目	71.5%	91.8%

令和2年度 鎌ケ谷市一般会計歳入歳出決算について

→決算状況の概要はどうか(一般会計)

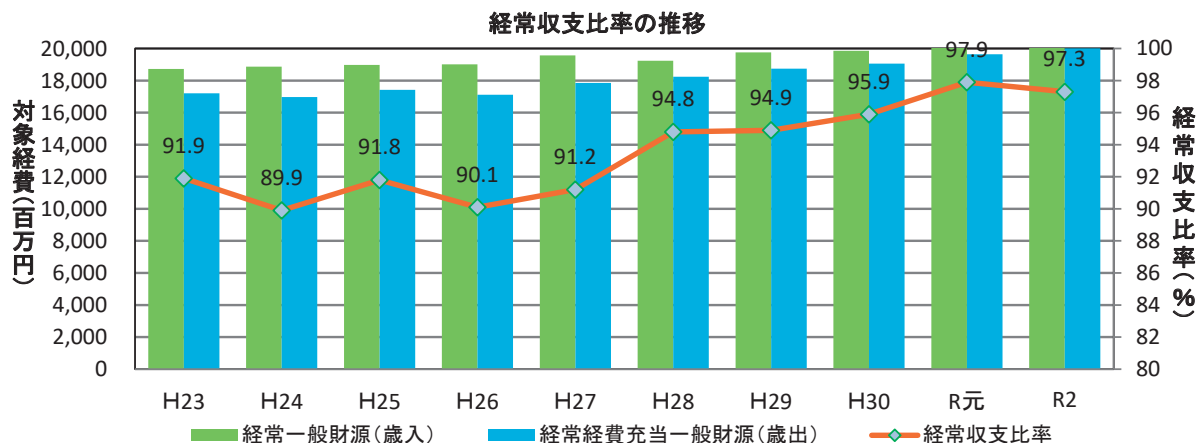
- A** 歳入決算総額(約492億円)から歳出決算総額(約473億円)、さらに翌年度に繰り越した事業に必要な財源(約2億円)を差し引いた実質収支は、約17億円の黒字となっています。

→財政健全化法で定める健全化判断比率の概要はどうか

- A** 実質公債費比率(毎年の借入金返済の状況)は4.3%、将来負担比率(将来負担することとなる地方債などの市全体債務状況)は32.1%でいずれも早期健全化基準未満となっています。

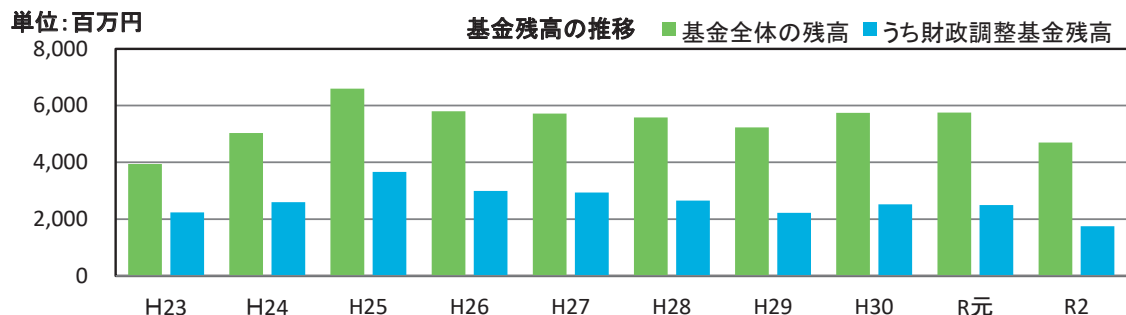
→財政構造の弾力性を示す経常収支比率の推移はどうか

- A** 経常収支比率は0.6ポイント改善して97.3% (県内で32位)



→基金(市の貯金)の推移はどうか

- A** 財政調整基金、減債基金等9種類の基金で約47億円を確保



令和2年度の決算の認定を終えて

令和2年度決算は、実質収支が約17億円の黒字であるとともに、財政健全化法で定める健全化判断比率も、早期健全化基準をすべてクリアしていますが、「経常収支比率」と「基金残高」は、市の数値目標を達成していない状況となります。

今後は、少子高齢化の進展や新型コロナウイルス感染症の影響など、持続可能な行財政運営を堅持するため、議会としても注視してまいります。



勝又まさる — プロフィール —

議会所属委員会

●教育福祉常任委員会 委員

●議会運営委員会 委員

●鎌ケ谷市監査委員